

## 第15回 2級キャリア・コンサルティング技能検定 実技試験合格体験記

受検番号 03S3120019 A.I. (新潟県在住、50代 女性)

### 1 どんな準備をいつ頃から行ったか

第15回試験は11月28日の2級実技(面接)試験対策講座から開始

どのような内容を、どの程度行ったか。

『2級技能士対策講座から実技(面接)本番5コース体験』に計3回参加

- ・試験のロールプレイケース内容5つを、ノートに切り貼り、ロールプレイ毎に、気になる点、事前に調べる必要がある制度を準備した。
- ・ロールプレイ練習後は、振り返り、フィードバック、課題、注意点、良かったこと、次回にトライしてみたいこと、他のロールプレイを見て取り入れたい、真似したい点をランダムに書き込み、次回のロールプレイ練習の際に試行、実行した。
- ・上手く行った点は継続し、そうでない部分は再挑戦、修正を行った。

準備に対する振り返り

- ・ズバリ、上記の対策講座に参加したことが「合格に直結」したと思います。
- ・さらに、日常業務でカウンセリング(40分・50分)を行う際、面接評価区分の4点  
①基本的態度②関係構築力③問題把握力④具体的展開力を常に意識した。
- ・日常業務で作成するカウンセリングリポートも、試験の評価を意識した内容でまとめるようにした。

### 2 これから受検する人へのアドバイス

- ・決してあきらめないで下さい！  
不合格になると、**自分の何が悪かったのか？何が足りないのか？**を探索してしまいがちです。  
私はそれを追求し、迷走しました。振り返りは大切ですが、自分の中で客観的な視点を持つこと、気持ちの切りかえが大切だと思います
- ・実技試験は「型」を見る試験であると強く捉えてみる！  
私の場合、試験と実務は違うことを明確に意識して挑みました。描くイメージは自動車免許の路上試験でしょうか。声かけ、指差し、はっきりした停止、踏切前で窓を開けて踏み切り音を聞く等々、日常の運転ではやらないことでも、試験の場では、それを明確に示さなければ、試験官は点数をつけられない。  
「今これやってるよ！」と試験官と相談者役にわかるように言語化してみる
- ・「気づき、答えは相談者の中にある」を強く意識してみる

Good Luck!!

### 3 実技（面接）試験の状況

受検地：東京 受検日：1月17日(日)午後～  
ロールプレイケース1で受検（相談者：上田千秋）

試験希望日をこの日にした理由

- ・申し込みがギリギリで第一希望日ではなかった
- ・土曜出勤もあるので日曜日を希望した
- ・家族の行事と被らない日を希望した

### 4 実技（面接）試験の状況

導入部：挨拶、自己紹介、相手の名前をフルネームで復唱、守秘義務、相談時間の告知

#### 評価

- ①基本的態度（70点）：とにかく傾聴、誠実な態度、共感的な態度、アイコンタクト
- ②関係構築力（70点）：労いの言葉かけ、承認、気持ちや感情面の共感的態度、伝え返し、相談者の訴えを受容・繰り返し共感的に受け止める
- ③問題把握力（65点）：拾ったキーワードを要約、他に「何か気になることはありますか」と質問、その上で目標を整理、目標を共有し言語化
- ④具体的展開力（60点）：4S点検の実施、サビカスのキャリア・ストーリー・アプローチ

#### 口頭試問の内容と回答

##### ・この面談においてできたことと、できなかったことを教えてください

- 「相談者の表情（不安な表情から笑顔が出たり、元気になっていく様子が伺えた）と発言（頑張ってみます、相談してみます等の前向きな言葉）からある程度関係構築ができた。ただ、もう少し時間をかけて丁寧に傾聴すればもう少し関係性が深まった気がする」と回答
- 方策の説明途中で時間切れになってしまった。時間管理ができていなかった反省を述べ、次回の面談に繋がりたい、と回答

##### ・今後、面談が進んだらどのようにどのように行っていきますか？

- 途中で終わってしまった具体的展開について行いたい、過去から将来へと繋がるキャリア・ストーリーを捉えるためにワークシートを活用し、働く動機や価値観の視点から進路を考え直す支援を行っていきたい、と回答
- ※不合格の際は口頭試問でかなり聞かれたが、今回は時間も短く、あっさり終わってしまった。これで終わり？と拍子抜けした感じでした。

以上